

森の学校だより

富士山、福島、広島の3地区で、森・人・地域を育てる10年間のプロジェクト

FOREST
SCHOOL
BULLETIN

福島地区

富士山地区

広島地区

森の鼓動を肌で感じるひと時

富士山を目前に体と心をリフレッシュ

春休みの合宿「ユースボランティア養成講座」

森羅万象

若者が安心して定住できる
地域づくりに取り組む

担当者から「こんにちは」

10年間でふりかえり11年目の第一歩へ

樹話
になる

新春を迎え、お健やかな日々をお過ごしのこととお慶び申し上げます。2015年も、森と暮らしの新しい関係をつくるために、日本全国で森に関わる人やイベントなど、さまざまな渦を巻き起こしていけたらと思います。

“暮らしの中にある森”をテーマに、2012年から富士山地区でスタートした「FUJIMOCK FES(フジモックフェ

ス)」。富士山の間伐材を使い、アイデアをかたち(MOCK-UP)するフェスティバル(FES)です。木こり・ものづくり工房・自然学校がタッグを組んで、「自分で切る→自分で作る→自分で使う」ことを体験する、新しい木育に挑戦しています。ろうきん森の学校も、新たな仲間が加わって新しい時代を迎えました。今年も1年、様々な手を重ね合わせていきますように。



1～3月のイチオシ体験プログラム！

森の手入作業体験

【日付】2015年2月15日(日)

【対象】どなたでも【参加費】500円

企画の背景

湯ノ岳フィールドにおいて、1年間でどの位木の枝や草などが伸び、林内の状況が変化したかについて感じてもらいながら、森の手入作業を行います。また、手入れの結果でてきた木や枝を、薪やクラフトの材料として利用できることを知ってもらいます。

企画の想い

里山の環境を維持するためには、日頃の手入と利用が必要であることを理解してもらうことと、適切なバイオマス利用が環境にやさしいことを実感してもらいます。



こんなプログラムで盛り上がりました！

活動報告

自然観察会、森林療法体験、野外料理体験

11月16日に34名の参加者の皆さんと自然観察会、森林療法体験、野外料理体験を行いました。地元の若い母親と子供達の参加もあり、賑やかな集まりになりました。野外料理はキノコごはん、キノコ汁に加えて石窯でのサツマイモ、ニンジン、ピーマン、玉ネギ焼きを行い、参加者全員にオヤキ作りを体験してもらいました。オヤキ作りは子供達には喜んでもらいました。

「石窯で焼いた野菜がとてもおいしかった。」
「草笛の作り方を教えてもらって、音が出たのが楽しかった。」(参加者アンケートより)



他にもこんな体験が待っています！

■自然観察会

【日付】2015年1月18日(日) 9:00～12:00

【対象】どなたでも

【概要】自然観察会、ネイチャークラフト花炭作り、野外料理体験

【参加費】500円

■自然観察会

【日付】2015年2月15日(日) 9:00～12:00

【対象】どなたでも

【概要】自然観察会、森の手入体験、野外料理体験

【参加費】500円

■自然観察会

【日付】2015年3月15日(日) 9:00～12:00

【対象】どなたでも

【概要】自然観察会、キノコ植菌体験、野外料理体験

【参加費】500円

富士山地区



1～3月のイチオシ体験プログラム！

富士宮チャレンジウォーク by 富士山!カラダの学校

【日 付】2015年3月1日(日)

【対 象】小学生以上

【参加費】2,000円



企画の背景

歩くということは、人間が生活していく中で、最も重要な身体活動です。歩くことで筋力の維持や向上し、脂肪燃焼や循環器機能の促進を図ることが可能です。そして何よりも心身のリフレッシュに最適です。富士宮チャレンジウォークで20kmの長距離ウォークにチャレンジして欲しい！

企画の想い

富士山!カラダの学校では年間を通じてノルディックウォーキングのイベントを実施しています。その中で1年に1度開催される長距離イベントが富士宮チャレンジウォークです。雄大な富士山が眺められる朝霧エリアで皆さんの挑戦をお待ちしています。



こんなプログラムで盛り上がりました！

活動報告

第9回ろうぎん森の学校田貫湖秋まつり

富士山がきれいに見える秋晴れの下、10月19日に田貫湖秋まつりを開催しました。今回は「静岡県秋の森づくり県民大作戦シンボルイベント」と同時開催とし、労働金庫連合会から丹治副理事長にも出席いただきました。竹や鹿革のクラフト体験、ヒノキのバスソルトづくり、里山運動会など盛りだくさんのイベントと、地元の皆さんの模擬店（焼きそば、マスパーガー等）でとても盛り上がりました。

「初めての体験でしたが、とても楽しかったです。手作りのアロマを大事に使いたい。イベントも地域の方の手作りで、地産地消で安心して食べることができました。」

(参加者アンケートより)



他にもこんな体験が待っています！



■植物のチカラ～柚子で寒さと乾燥対策！～

【日付】2015年1月10日(土) 13:00～16:30

【対象】小学生以上

【概要】里山を散策&柚子をまるごと使って、寒さと乾燥に役立つグッズを作ります。

【参加費】2,000円(小学生は1,000円)

■里山つなぎ隊～竹林整備と竹筆作り～

【日付】2015年1月31日(土)・2月1日(日)

【対象】18歳以上

【概要】富士山麓の里山をキレイにするボランティア活動。

竹林整備後は里山の恵み(竹)を使って、竹筆を作り、書き初めをします。

【参加費】2,000円(宿泊使用料・食事代込)

■おいしい里山物語～2月は自家製味噌作り～

【日付】2015年2月15日(日) 10:00～14:00

【対象】3歳以上

【概要】雑穀入り自家製味噌を作ります。この時期しかできない味噌作り。醤油絞りや餅つきも体験できます。

【参加費】大人3,500円、子ども2,500円

■里山つなぎ隊

【日付】2015年2月21日(土)・22日(日)

【対象】18歳以上

【概要】富士山麓の里山をキレイにするボランティア活動。竹林整備後は里山の恵み(竹)を使って、竹クラフトを作ります。

【参加費】2,000円(宿泊使用料・食事代込)

■里山のようちえん

【日付】2015年3月14日(土)・15日(日)

【対象】3歳～6歳(未就学児)とその保護者

※リピーターのみ小学2年生まで可

【概要】年間を通じて富士山の大自然を満喫しながら、食と農について親子で学ぶホールアース自然学校流の森のようちえん。3月は野草スイーツづくりと草木染めの体験をします。

【参加費】大人13,000円、子ども9,000円

HIROSHIMA

広島地区



1～3月のイチオシ体験プログラム！

ユースボランティア養成講座

【日付】2015年3月22日(日)～24日(火)〈2泊3日〉

【対象】高校生・大学生

【参加費】5,000円

企画の背景

春休み期間を利用して、高校生・大学生ボランティアのための集中トレーニングを行うことで、新年度以降の森の学校事業の円滑運営を図る目的で開催します。

企画の想い

森の学校での宿泊合宿を通じて、学生ボランティア同士のコミュニケーションを深め、より実践的なチームとしてのレベルアップを図ることを目指します。初めての方でも、ボランティア活動や自然体験に興味があれば気軽に参加いただけます。



こんなプログラムで盛り上がりました！

活動報告

学生ボランティアの会「なちゆるらず」発会式

森の学校の運営学生ボランティアの会「なちゆるらず」の発会式が11月3日に行われ、県内の大学から18名の学生が参加してくれました。3チームに分かれて、丸太切りタイムトライアル、鍋料理対決、火起こし、薪割り、お釜でごはん炊き、森の学校の遊び図鑑づくりのアイデア出し大会などにチャレンジし、まずはゆるいチームビルディングからのスタートでした。これから、このチームがどのように成長していくか...とても楽しみです。

「最初は知らない人ばかりで緊張していましたが、1日一緒に過ごしてみても楽しく参加でき、これから色々なことを学んでボランティア活動に活かしていきたいという意欲が湧いてきました。」
(参加者振り返りの会より)



他にもこんな体験が待っています！



■第13回コミュニティ・ワーカー・トレーニング

【日付】2015年1月17日(土)

【対象】大人

【概要】地域づくりの仕掛け人に必要なスキルを学びます。

【参加費】学生3,500円、一般4,000円

■平日作業隊

【日付】1月-3月の毎週木曜日

【対象】森の整備に興味がある方

【概要】森の学校のフィールド整備、動植物調査など

【参加費】無料

森羅万象

NPO法人野外教育学修センター 魚沼伝習館
理事長 坂本 恭一さん



P R O F I L E

1948年生まれ、東京都出身。外資系エレクトロニクス企業、商社勤務を経て、50歳で早期退職。1998年に魚沼に移住し、2002年より自然体験活動を開始。2005年NPO法人を取得して魚沼伝習館理事長に就任。

新地区紹介① 新潟地区

「若者が安心して定住できる地域づくりに取り組む」

Q1 魚沼伝習館について教えてください。

「ふるさとで安心して生活できる社会にする」をミッションとし、新潟県南魚沼市を本拠に活動しています。子どもや親子を対象とした青少年育成事業、若者の定住を目指し、農業による耕作放棄地の利活用に取り組む地域づくり事業、環境学習や資源保全に取り組む環境事業の3つを活動の柱にしています。昨年まで隣の魚沼市に拠点を置いていましたが、2014年6月に、牛舎を改装した研修施設「辻又体験工房」を南魚沼市辻又（つじまた）地区に開設し、本拠としています。



Q2 坂本さんはどういう経緯で魚沼伝習館を始めましたか？

大学卒業後、外資系のエレクトロニクス企業に勤め、営業や経営企画に関わっていました。35歳の時、商社に転職し15年間務めた後、自然豊かな田舎でのんびり暮らそうかと思いい、50歳で早期退職をしました。スキーをやっていたので、新潟（魚沼）には馴染みがあり、縁あって移住しました。自然体験活動は最初、地元の行政からの要望で取り組み始めました。ボーイスカウトの経験が買われたのですね。山里の子どもに海の体験をさせたいと思い、粟島をフィールドにキャンプも行っています。伝習館の

前身である「奥只見郷ネイチャーレククラブ」を設立したのは2002年で、その後2005年にNPO法人となりました。

Q3 拠点としている南魚沼市辻又地区とは？

新しい事務所がある辻又は、最寄りの上越新幹線浦佐駅から車で20分ほどのところにありますが、過疎化が進み現在では15世帯、40名あまりしかいません。魚沼コシヒカリの産地ですが、将来消滅する可能性があるいわゆる「限界集落」です。川沿いの細長い集落ですが、高台に上がると八海山が見え、スキの植林地だけでなくブナ林も広がっています。隣の魚沼市での地域づくりの取り組みを契機に、地元からの要請を受けて3年ほど前からこの辻又で地域づくりに取り組んでいます。

Q4 ろうきん森の学校でどのようなことをするのですか？

10年間かけて、地域で若者が定住できるような仕組みを作っていきたいと考えています。1つ目は、共有林のスキを間伐し、地区内に簡易製材所を設置して角材を作り、ゴミ集積所やバスの待合所として使えるようなミニログハウスを

商品化したいです。2つ目として、耕作放棄地にキャンプができる研修施設も設置し、地元の親子や団体を対象としたプログラムも行います。3つ目は、地区に豊富にある木質エネルギーを使って、暖房・給湯と、できれば発電にも取り組んでみたいと思っています。もっとも10年後、自分がどうなっているかわからないので、人材育成が不可欠ですね（笑）。

Q5 「森の学校だより」の読者の皆さんにメッセージをお願いします。

4月から始まるろうきん森の学校では、「田舎にある日本の良さ、豊かさ」を気軽に体験してもらいたいですね。東京から新幹線を使えば2時間ほどで来られるので、食わず嫌いでなく、是非一度来てください。また、地元の皆さんには、ここは資源が豊富にあり、それを活かして地域に人がとどまり、自立できることを示せればと思っています。これから10年間、よろしくをお願いします。

聞き手：大武 圭介（全国事務局）





日本の里山再生をテーマに、労働金庫連合会の50周年記念社会貢献活動として、NPO法人ホールアース研究所が主管で行なう、森林環境教育事業です。2005年度より10年間にわたり富士山、福島、広島の全国3地区で同時展開しています。



Information & Access & Map

<h3>富士山地区</h3> <ul style="list-style-type: none"> ■ 柚野エリア ■ 田貫湖エリア ■ 御殿場エリア <p>Information NPO法人ホールアース研究所 〒419-0305 静岡県富士宮市下柚野165 TEL:0544-66-0790 FAX:0544-67-0567 E-mail: forest@wens.gr.jp HP: http://wens.gr.jp</p> <p>Access 電車: JR身延線「西富士宮駅」よりタクシー15分 車: 新東名高速道路新富士I.C.より30分</p>	<h3>福島地区</h3> <ul style="list-style-type: none"> ■ 湯ノ岳エリア ■ 岩出・好間・藤原エリア <p>Information NPO法人いわきの森に親しむ会 〒970-8326 いわき市常磐藤原町湯の岳2湯ノ岳山荘内 TEL:0246-44-3273 FAX:0246-44-3273 E-mail: yunodake@gray.plala.or.jp HP: http://www16.plala.or.jp/goan/</p> <p>Access 電車: JR常磐線「いわき湯本駅」よりタクシー15分 車: 常磐自動車道いわき湯本I.C.より10分</p>	<h3>広島地区</h3> <p>Information NPO法人ひろしま自然学校 〒733-0004 広島市西区打越町11-8-207 TEL:082-237-1163 FAX:082-237-8863 E-mail: nkk2002@mac.com HP: http://www.hs-gakkou.jp/Access</p> <p>Access 電車: JR山陽新幹線「広島駅」よりバス60分 車: 広島自動車道広島北I.C.より20分</p>
<p>ろうきん森の学校全国事務局 NPO法人ホールアース研究所</p> <p>〒419-0305 静岡県富士宮市下柚野 165 TEL 0544-66-0790 FAX 0544-67-0567 E-mail: forest@wens.gr.jp HP: http://www.mori-gakko.com</p>		

担当者から

「こんにちは」

NPO法人ホールアース研究所
たなか けいすけ
田中 啓介さん
(全国事務局)

2005年に開校したろうきん森の学校は、ついに10年の節目を迎えました。過去9年間でのべ10万人以上が参加し、福島・富士山・広島の3地区での活動も成長を続けています。2月12日(木)には、「ろうきん森の学校10周年記念シンポジウム」を開催します。100年の森構想を推進する岡山県西粟倉村で、地域資源に新たな付加価値を生み出し続けている「森の学校」代表取締役の牧大介さんを迎え、里山再生に企業とNPOが果たす役割について考えます。会場は赤坂の日本財団ビル、入場無料です。ぜひお越しください。もうひとつ、嬉しいお知らせです。11年目となる来年度、新しい仲間が加わることが決定しました。1つは新潟県南魚沼市を拠点に地域づくり事業や青少年育成事業に取り組んでいる「NPO法人野外教育学修センター魚沼伝習館」さん。もう1つは、岐阜県美濃市を拠点に人力の道具で生木によるものづくり講座を展開している「NPO法人グリーンウッドワーク協会」さんです。ろうきん森の学校のさらなる挑戦にご期待ください!